

# おかい

## 杉並区議会だより

NO.218

平成25(2013)年8月1日発行

発行/杉並区議会 編集/区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0695

http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/ 携帯サイト http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/

開かれた議会を  
目指しています  
**区議会を  
傍聴しましょう**



7月1日(月)に開所した「杉並大宙(おおぞら)みたけ保育園」の開所式(6月20日)であいさつする大泉議長。この保育園は、待機児童対策緊急推進プランに基づき開所した施設で、高齢者施設も併設されています。

### 平成25年 第2回定例会

狭あい道路拡幅整備など防災性の向上や保育園の整備など新たな事情の変化に対応するための「一般会計補正予算(第2号)」等を可決

議長・副議長を選出、  
新たな委員会構成も決定

### 第2回 定例会の概要

第2回定例会は、5月30日に開会し6月13日までの15日間の会期で開催されました。その模様をお知らせします。初日から6月3日にかけては、20名の議員が区政一般について質問を行いました。

3日は、一般質問の後、区長から提案された条例案、補正予算案など議案13件が上程され、提案説明を受けた後、11件を関係する常任委員会に付託しました。委員会付託を省略した区長提出議案「人権擁護委員候補者の推薦について」2件は原案どおり可決し、平成24年度杉並区一般会計補正予算(第7号)と損害賠償額決定の専決処分については、報告承認をしました。このほか、平成24年度繰越明許費繰越計算書についてと財団法人の経営状況の計6件について報告聴取をしました。

4日から12日までは、各常任・特別委員会が開かれ、条例案の審査等が行われました。

最終日の13日の本会議では、各常任委員会委員長から付託した議案の審査経過が報告され、11件の区長提出議案は、原案どおり可決しました。

その後、正副議長から辞職願が提出されたため、議長・副議長の選挙を行い、議長に大泉時男議員(自民)を、副議長に渡辺富士雄議員(公明)を選出しました。

次に、「農業委員会委員(選任による)候補者の推薦について」は、浅井くにお議員を推薦することに決定しました。また、「東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙における候補者の推薦について」は、投票により、井口かず子議員を推薦することに決定しました。このほか、常任委員会・特別委員会・議会運営委員会委員の選任等を行いました。最後に、議員選出の監査委員として、小泉やすお議員、小川宗次郎議員を選任することが区長から提案され、これに同意し、第2回定例会を閉会しました(審議の結果は5面をご覧ください)。

### 就任にあたって



杉並区議会副議長  
渡辺富士雄  
(第74代)



杉並区議会議長  
大泉時男  
(第73代)

第2回定例会区議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その使命と責任の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいでございます。さて、区議会は、区長等の執行機関とともに「地方主権」の一翼を担い、その

関係は「車の両輪」と多く例えられます。これは、区民の皆様の直接選挙により選出された議長と長がそれぞれの職責のもと、相互に抑制し、均衡をとりながら、民意を反映した公正な行政運営が期待されているからであり、区の予算など重要な案件を決定していく権能が認められるなど、区議会には大きな役割が求められています。

区議会においては、この間、保育園の待機児童解消、防災対策の充実・狭あい道路の拡幅整備の推進、新しい高齢者施設・住まいのあり方など、区民生活に喫緊の課題について、様々な視点から慎重かつ活発な議論が積み重ねられてまいりました。景気回復の兆しが表れてきたとも一部には報じられておりますが、我々の生活を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しく、区の財政運営もかじ取りの難しいところが増え見られ、個々の課題も山積しています。我が国の政治経済が大

きな転機を迎えている今日、「区民の福祉向上」を目指し、果敢に挑戦していくことが今、区議会に求められていると強く感じています。

そうした意味からは、これまでにも増して区議会を区民の皆様により身近なものとしていく努力を我々としてもしていかなければなりません。区議会も自ら変化を的確に捉え、「進化」していく姿を示していく必要があると認識しています。

情報発信力の強化、透明性の向上など区議会の活性化を図り、しっかりとした審議を行うことができるよう不断の改革に取り組んでまいります。そして、杉並区の発展のため、区民の皆様の安全安心のため、議員一人ひとりが精力的に取り組み、区民の皆様の期待に応えてまいります。

区民の皆様には、今後とも一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

### 第1回臨時会の概要

第1回臨時会は、7月16日・17日の2日間の会期で開催されました。

16日は、区長から提出された放射能対策費用に係る損害賠償請求に関する和解案及び補正予算案が上程され、提案説明を受けた後、総務財政委員会に付託しました。

17日は、総務財政委員会委員長から付託した議案の審査経過が報告され、2件の区長提出議案は可決しました(審議の結果は5面をご覧ください)。

### 平成25年 第1回臨時会

「放射能対策費用に係る損害賠償請求に関する和解(第一次)について」「一般会計補正予算(第3号)」を可決

平成25年第3回定例会は9月9日開会予定です。



# 一般

# 質

# 問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。  
第2回定例会の5月30日・31日、6月3日に計20名が質問をしました。  
その要旨をお知らせします。

子宮頸がんワクチンと  
性道徳教育について



松浦芳子  
(同志)

**問** 16型・18型以外のHPV(ヒトパピローマウイルス)感染に対するワクチンの効果が確認されていないこと、HPVに感染しても多くは自然消滅すること、子宮頸がんそのものを予防する効果が証明されていないことへの区の見解は。

**答** ワクチンの有効性はWHOや国の専門家の議論の中で、確認されていると認識している。「ワクチンの副反応は、十分に説明している」と言われたが、杉並区から重篤な被害者が出ているが、慎重に対応すべきだ。  
**問** ワクチン接種予診票にお知らせを同封し、医療機関にも接種前に説明するよう依頼した。



**問** 区は被害者の補償を決めたが、具体的にどう補償するのか。  
**答** 医療給付金制度を設け、申請を受けた後専門家や有識者の意見を聞き、区が決定する。

**問** 子宮頸がんは、空気感染ではなく、性行為により感染するのであるから、性道徳教育を充実するべき。  
**答** 個別症例は取り上げていないが、性感染症の予防について、中学校第3学年で学習している。

杉並・世田谷・区境の  
まちづくりと道路の安  
全管理を問う



大熊昌巳  
(自民)

**問** 世田谷区に接する、上高井戸1丁目1番地・2番地の孤立するエリアについて、区の現状認識と今後のまちづくりについての区の見解は。

**答** 駅に近く利便性の高い地域であるが、区境から駅に向かう道路などの基盤が脆弱な地域でもある。地域の皆さんとまちづくりの課題を共有し、支援を行うとともに、世田谷区とも連携・協力し、地域の特性を活かしたまちづくりを進めていく。

**問** 世田谷区に接する、久我山1丁目2番地7号付近の道路管理と交通安全施設整備と区民の安全についての区の見解は。

**答** 指摘の道路は、世田谷区管理の道路である。区境通りについて、世田谷区と緊密に連携を図り、区民の安全確保に努める。  
**問** 前記の道路付近に住む方々からカーブミラー設置の要望があったが、世田谷区の道路基準により、設置ができなかった。区は世田谷区へ申し入れをし、立て看板が設置され、危険回避に努めたが、設置を断念しなければならぬ状況は疑問である。

**答** 詳細を確認して、世田谷区に相談をする。

新たな「まちづくり基  
本方針」に盛り込むべ  
き課題



浅井くにお  
(自民)

**問** 渋滞や事故、地域分断が大きな課題の西武新宿線で連続立体交差事業の一刻も早い事業実施を。また、区内18駅で上井草駅だけが、上り下りのホーム間を結ぶ連絡手段がない。移動できる措置を。

**答** 杉並区総合計画・実行計画で重点事業としている。改定作業中のまちづくり基本方針でも方針を示し、早期実現に取り組み。上井草駅は、西武鉄道へ粘り強く改善措置を求めていく。

**問** 地下鉄丸の内線が荻窪駅より西に青梅街道に沿って延伸することを検討しないか。

**答** 区北西部の利便性は向上する。国の整備を検討すべき路線には無く、今後、国・都の動向を注視し、適切に対応する。  
**問** 区制施行80周年記念事業で表彰した屋敷林を、どのような手だてで残すのか具体策は。

**答** 今年度取り組む緑地の保全策検討の中で、効果的な方法を考えていく。

施設再編整備と就労支  
援センターについて区  
の方向性を問う



脇坂たつや  
(自民)

**問** 施設再編・整備計画の策定では、中長期的な視点を持って削減額や施設数などの目標を定めているか。計画は、施設白書のような前・中・後の10年程度の期間を視野に入れているのか。実行計画との関連性も問う。

**答** 施設白書のデータを基に、中長期にわたる計画として検討している。10年間の目標を定め、実行計画と整合性を図る。  
**問** 再編により施設運営の効率化を図るため、設置目的を見直し、施設の複合化や多機能化を進めるとともに、保育需要への対応についても、既存区立施設の転用を検討すべきと考えるが。

**答** 施設の数や機能、配置を見直していくことが必要である。  
**問** 就労支援センターへの相談だけでは就職の成果が上がらない実態に対し、効果的に就職に結びつける取組を行っているか。

**答** 個々の相談者の状況に応じた取組を行っている。  
**問** 今年度、強化して取り組んでいる就労支援の内容とその目的はどのようなものか。

**答** 関係する所管課との連携強化を図り、就職決定者の増加を目指している。

アベノミクスは危険。  
国に従うだけでは自治  
体として無責任



原田あきら  
(共産)

**問** アベノミクスは物価高騰により区民に負の側面を押しつけ、200兆円の不要不急な大型開発と、そのツケとしての国民負担増、解雇自由化など労働環境悪化を画策している。こうした痛みの矢が区民生活を突き刺すと考えるが区の見解は。

**答** デフレ状況は緩やかになっできていない。今後、区内の状況把握に努める。経済対策等で景気回復に向かうことを期待する。

**問** 消費増税は家計を直撃し、経済を破壊する。参院選後に行われようとしている消費増税に、国の動向を注視するばかりでなく、消費増税はゆるべきだと区長は国に進言すべきでは。

**答** 政府は消費増税を上げる「経済環境は整いつつある」と認識を示した。国が説明を行い、最終的な判断を行うべきと考える。  
**問** 「日本を取り戻す」どころか、「日本を売り渡す」として、自治体にも影響を与えるものであり、国の動向を注視するばかりでなく、交渉参加の即時撤回を呼びかけるべきでは。区長の見解を問う。

**答** メリットとともに、懸念もある。国の動向を注視していく。

待機児童対策と杉並ナ  
ンバーの推進について



今井ひろし  
(自民)

**問** 保育の待機児童対策緊急推進プランは順調に進捗しているのか、また、保育の質はきちんと確保されるのか。

**答** おおむね順調に進捗している。早急にプランに基づく整備目標の検証・見直しを図った上で必要な施設整備を進めていく。  
**問** 我々の要望により待機児童数の見直しが行われ、待機児童数が大幅に増えたが、待機児童数ゼロの目標が達成できるのか見直しを含め決意を問う。

**答** 必ず実現する目標とし、必要に応じ、待機児童対策緊急推進プランの整備目標を上方修正していく。  
**問** 障害者優先調達推進法の周知推進と業者選定の工夫を問う。

**答** 区ホームページ等で速やかに公表し、障害者総合支援法に基づき区内施設等の実態に応じた調達を推進していく。  
**問** 「杉並ナンバー」の導入について関係団体と連携を図り積極的に取り組むべきと考えるが。

**答** 地域の一体感や愛郷心の醸成、地域の活性化等の効果が期待できる。区民や団体への周知と意向の把握に努め、導入を申請する方向で考えていく。

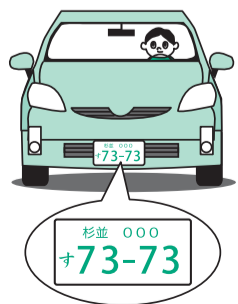


**問** 農は杉並の文化の一つ。農地保全のため農家の人手不足解消と伝統的作物づくりの継承を。  
**答** 都市農業の課題解決に向け、農地活用懇談会で検討していく。



## 内定

**問** 「日本を取り戻す」どころか、「日本を売り渡す」として、自治体にも影響を与えるものであり、国の動向を注視するばかりでなく、交渉参加の即時撤回を呼びかけるべきでは。区長の見解を問う。  
**答** メリットとともに、懸念もある。国の動向を注視していく。





区内「公有地」の利活用で保育環境整備や防災力向上を！



大和田 伸 (自民)

問 区立梅里中央公園に隣接する国家公務員宿舎跡地を、有効活用すべき。

答 今後、保育施設の建設用地として活用すべく、国へ要望を行っていく。



問 阿佐谷・高円寺等の木造住宅密集地域周辺においても国家公務員宿舎跡地の有効活用を。

答 区立馬橋公園に隣接する国家公務員宿舎について、地域の防災性向上に寄与することが期待されるため、公園の拡張用地として取得を要望していく。

問 梅里一丁目の都バス車庫用地について、将来的に、地元に戻元されるような整備を望む。

答 当該用地は、都との連携により地域のまちづくりに寄与するような活用を検討すべき用地である。都は敷地内整備場の改築工事に合わせ東側道路の拡幅に協力し、歩道状空地を設け、歩行者に開放する意向である。

問 「狭あい道路拡幅整備事業」の今後の課題とその解決に向けた取組を問う。

答 建物や塀は後退しているが道路が広がっていない箇所を対象に、職員が戸別訪問し区民に協力を依頼し、整備を推進する。

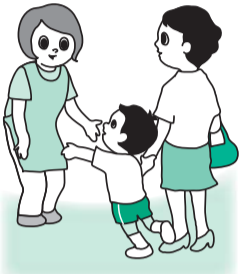
待機児童解消・認可保育園増設、井荻駅地下道利便性向上を



山田耕平 (共産)

問 区に異議申し立てを行った保育待機児童の保護者の行動は各地に広がり社会問題に。入園選考に落ちた保護者は現在も保育園探し中。どの園もいまだに数十人の空き待ち状態。保育園探しに追われる母親は「毎日不安が募る。どうすれば入園できるのか？」涙を流しながら語った。入園できず、仕事を退職した保護者も。行政の保育所整備不足が深刻な事態に。認可保育所増設を柱とした施設増を図るべきでは。4月時点で定員不足も明らか。直ちに緊急推進プランの不足分を補う必要があるのでは。認可基準を緩和し待機児童を解消する動きは、保護者の願いに逆行しているのでは。

答 予想を上回る保育需要が生じた。状況等を踏まえプランの整備目標の検証を早急に行う。必要に応じて整備目標の上方修正を図る。規制緩和は良好な保育環境の維持に大きく影響するため、慎重に判断すべき。



問 井荻駅南北地下通路にエレベーター設置を求める声が多い。早期に実現するべきでは。

答 バリアフリー充実が重要課題。早期実現へ、都と協議する。

杉四・杉八と高円寺中の施設一校校化の白紙撤回を求める



鈴木信男 (共産)

問 高円寺地域の新しい学校づくり計画策定準備会は、1年間の検討協議の報告書を区教委に提出した。結論は杉四・杉八、高円寺中の施設一校校化・小中一貫校を平成29年以降に開校が望ましいとある。これは区教委のたたき台の前提を否認する内容である。保護者等から「話し合いの内容がほとんど知らされず、教育の質が全く話し合われていない」等聞いた。小中の連携を否定しないが、施設一貫校化は学校統廃合の理由にされている。白紙撤回を求める。たたき台が前提ならトップダウンの一貫校最初にありきである。

答 検討のため作成し、区教育委員会としての決定でないこと明示したもので前提ではない。



問 子宮頸がんワクチンについて、今後どういった勧奨を行い、情報提供をどう改善するのか。

答 最新情報を盛り込んだお知らせの送付や、区ホームページの内容充実を図る等努めている。

問 副反応のリスクを侵してまで子宮頸がんワクチンを接種する必要性はないと考えるが。

答 ワクチンの効果と副反応について丁寧な情報提供に努める。

問 外環の2の必要性をその有無から判断すべきとする区は、一部の事業化が始まった今、その判断を表明すべき。

答 ゼロベースで検討されるべきという考えは変わっていない。

待機児童緊急対策を求む！子宮頸がんワクチン接種中止を！



けしば誠一 (無区)

問 待機児童285人に対する施設整備や情報提供、窓口対応の充実が重要と考えるが。

答 施設整備を進めるとともに、施設の空き情報を随時提供する等のアフターフォローも行う。

子宮頸がんワクチンに対する区の認識と対応を問う



そね文子 (ネみ)

問 6月の厚生科学審議会でワクチンの一時中止について結論が出される。多くの副反応被害があつて緊急に会が持たれてい

答 接種対象者へのお知らせの発送を待つべきだったのでは。



問 入札額の低さのしわ寄せが、時給の低さに影響していると推測する。単に価格だけで決定するよりは優れていると考える総合評価方式の導入はどうか。

答 契約制度検討委員会専門部会を立ち上げて、検討している。

問 子宮頸がんワクチン被害者連絡会に寄せられる症例の深刻さに打ちのめされている。区独自に費用助成を開始する際、効果能をどのように検証したのか。

答 WHOが推奨、日本においても有効性・安全性について十分に審議がなされ、薬事承認販売された。血清抗体価は現時点では判明していない。最終的に有効な抗体価や効果の継続期間は現在行われているモニタリングにより明らかにされていく。

窓口従業員時給最低の850円、子宮頸がんワクチンの効果



奥山たえこ (ネみ)

問 区の発注業務である区民センター受付の時給は、最低賃金の850円。日本での相対的貧困率は年収125万円。区役所で働く人の給与は、貧困レベル以下であつても構わないのか。

答 従事者に対し、最低賃金法に定める賃金額以上の賃金が支給されていると認識している。

外来動植物対策は？新たな災害協定先を議会と連携すべき



山下かずあき (民社)

問 生物多様性の取組は都市部で遅れている。共生社会を築く上で絶滅危惧種への対応は。

答 自然環境調査の中で判明した絶滅が危惧される生物は、保全等に取り組んでいく。

問 絶滅危惧の原因のひとつである「ナガミヒナゲシ」「ミシシツピ」「アカミミガメ」等の外来動植物への対策は。今後の自然環境調査の区政への反映は。

答 特定外来生物は法に基づき防除を、それ以外は飼育マナーの啓発を行っている。調査中の第6次自然環境調査は平成26年度に報告をし、環境教育やまちづくり等へ活用していく。



問 東日本大震災の被災記憶を風化させないためにも「ラジオ体操11日募金」のような区民レベルの取組は重要。また、今後の南相馬市への支援方針は。

答 震災訓練に大震災の教訓を盛り込む。南相馬市へは今年度も8名の職員派遣を継続する。

問 有効な支援が相互に受けられる災害協定先の選定基準は。また、区議会とも連携すべき。

答 所在地、行政規模、人口等を基準に加えていく。区議会とも情報を共有し調査研究する。

建築士と区政との関わり、ハードとソフト連携のまちづくり



山本あけみ (民社)

問 これまでに建築士など専門家と連携した区の事業の現状は。
答 都市計画審議会やまちづくり景観審議会委員としての参加、まちづくりコンサルタントとしての地域派遣など、高い技術力や専門性を活かした事業を実施。



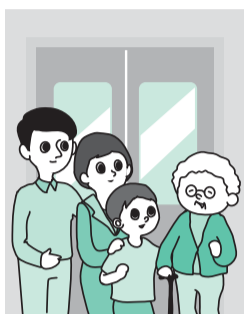
問 まちづくり全般、防災計画・杉並地域エネルギービジョン実現への建築士関与で有益な効果は。建築士3会からなる「杉並建築会」と区の連携への期待は。
答 まちづくりをはじめ区政の様々な分野で、建築士の技術力を区政に活かしていただくのは有意義。区と協働し、安全なまちづくりなど専門的見地からの区民への働きかけなど貢献を期待。

方南町駅エレベーターを早く！生活保護の改善ストップを！



富田たく (共産)

問 東京メトロ方南町駅のエレベーター設置は喫緊の課題。パリアフリー基本構想(案)で中期目標となっているのは遅すぎ求める。また区が事業者に対し早期設置を要請することを求める。
答 喫緊の問題と捉えている。様々な課題はあるが今後とも東京メトロに働きかけていく。



問 国の生活保護法改正は書類の不備などを理由に申請者を追い返す違法な水際作戦を合法化し、扶養照会により申請を委縮させる。生存権を脅かす大改悪と考えるが、区の認識は。
答 書類の提出や扶養照会は今も行われている内容を法文上明記したもので、これまでの運用を変えてのものではないと国から説明を受けている。

軽度外傷性脳損傷について、アレルギー対策について



山本ひろこ (公明)

問 軽度外傷性脳損傷(MTBI)について、区の認識を伺う。
答 この病気で、誰にも理解されず苦しんでいる方がいるという現状に光をあてることも、基礎自治体にしかできない重要な役割と考える。

問 MTBIを未然に防ぐため、また、症状がありながら適切な診断や治療が行われず苦しんでいる潜在的な患者のため、リーフレットの作成等による本疾患の普及啓発が必要と考えるが。
答 問題意識を共有し、国の動向なども踏まえながら、対処していく。

問 アレルギーに関する研修について、都が行っている医師の派遣を活用してはどうか。
答 都の医師派遣は、杉並区医師会所属の学校医の協力を得て実施している。引き続き学校医の協力を得て、全校で研修を実施できる体制を整えていく。



問 アドレナリン自己注射薬の使用について、全教員に研修を行うべきと考えるがいかがか。
答 今後、全教職員が使用できるように、都や区で実施する研修への参加及び校内研修の実施について指導していきたい。

出産後も働き続けられる環境作りと情報提供の仕組み作りを



横山えみ (公明)

問 「保育ホッとナビ」を評価する。レイアウトの工夫を期待し、情報集約化の意義を改めて伺う。
答 保護者がニーズに応じた施設を選択するために総合的な情報提供が必要と考える。

問 (仮称)保育コンシェルジュは、保育に関する総合的な情報提供・相談・案内を行うことが必要だが、どう具体化するか。
答 子育て支援サービスの相談にもつなげ、杉並ならではの仕組みとする検討を進めている。



問 認可外保育施設の保育士資格のない従事者の資格取得を支援する国や都の動きを踏まえ、区も手立てを講じるべきでは。
答 区独自の支援策を検討する。

問 命の大切さへの認識を深めるがん教育の推進には、医療・福祉が生活を支える新たな取組も必要と考えるが。
答 方南町地区等の実例をもとに、在宅療養を含む地域包括ケアについて、更なる推進を図る。

福島原発事故を教訓に、原発再稼働に反対せよ



新城せつこ (無区)

問 女性への性差別をあり、人権を蹂躪する橋下発言に対する区長の見解は。
答 多くの方から批判が寄せられているのと同様に考える。

問 憲法96条の改定は、9条改憲の布石であり、反対。見解は。
答 現在の手続きは、重みを持った数となっていると認識する。

問 伊方など原発再稼働に対する区長の見解を。
答 政府の動向を注視する。マイナンバー制度導入により、なりすましや個人情報漏えいが危険視される。区の対応は。
答 国の動向等を踏まえ、必要な対策を講じていく。

問 生活保護法の改正案では申請時に、資産や収入状況の証明書類の提出を求め、扶養できない親族には、理由の報告を要求するとあるが、路上生活者やDV被害者にも提出を求めるのか。
答 V被害者にも提出を求めるのか。生活保護法改正後も、当事者に寄り添った対応を求めたい。



高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせるまちづくり！



横田政直 (みん)

問 民間企業等で経験を積んだ方を管理職に採用すべき。想定しないとする理由を。
答 現時点では採用する事情、理由がないため想定していない。

問 障がい者の親亡き後の支援として有効な成年後見制度活用やグループホーム整備について、今後どのように強化するのか。
答 成年後見制度は、関係機関や関係団体の協力を得ながら充実を図っていく。グループホームは、総合計画・実行計画に基づき整備を進めていく。

問 精神疾患への無理解、偏見を無くすための啓蒙活動は重要な課題。正しい理解に向けての具体的な取組を求めたい。
答 精神疾患に関する精神保健学級の年10回程度開催や、毎年9月の区広報紙への関連記事掲載で、普及啓発に努めている。自殺者やうつ病患者の増加があり、心の問題は大きな社会問題と捉え、今後積極的に取り組む。

問 旧若杉小学校跡地の活用について様々な意見、要望があるが、区はどのように有効活用を図っていくつもりか方針を伺う。
答 施設再編・整備の検討の中で、活用策をまとめていく。



荻窪駅前再開発 津波想定を無視した南伊豆での特養整備



堀部やすし (無)

問 まちづくり基本方針(都市計画マスタープラン)改定案は、荻窪駅周辺について「将来的には、交通結節点機能の更なる充たが、一層高まる」と記載している。だがJR京葉線の中央線方面延伸が実現しても荻窪駅は結節点とならない。エイトライナーの実現性も乏しい。これは誰の予想なのか。
答 まちづくりの到達目標を述べたものである。

問 将来推計を甘く見積もって過大な投資事業を行うべきではない。
答 地域の皆さんと様々なまちづくりの課題を共有しながら、ハード部門とソフト部門の連携を図りつつ、より魅力的で安全なまちを築いていく必要がある。



問 海沿いの弓ヶ浜・南伊豆健康学園跡地での特養老人ホーム整備計画は、南海トラフ地震の津波想定を無視しており危険だ。隣地の共立湊病院も移転した。
答 町全体の平均津波高は15メートル、学園跡地の津波到達時間約17分などとなっている。入所者が避難を要しない強固で安全な施設整備を目指し検討中。

問 旧若杉小学校跡地の活用について様々な意見、要望があるが、区はどのように有効活用を図っていくつもりか方針を伺う。
答 施設再編・整備の検討の中で、活用策をまとめていく。

## 議案等の概要と審議結果

### 第2回定例会

○=賛成 ×=反対 △=会派で意見が分かれたもの 欠=欠席 平成25年6月13日議決 (※は6月3日)

件名	概要	自民	公明	民社	共産	ネみ	無区	同志	自ク	みん	無	共生	美杉	結果
杉並区長等の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例	区長等の退職手当の支給割合の改定	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区特別区税条例の一部を改正する条例	住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長及びその控除限度額の拡充等	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
個別外部監査契約に基づく監査について	児童館について、監査委員の監査に代えて個別外部監査契約に基づく監査を実施する。	○ 欠1	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
個別外部監査契約の締結について	児童館についての個別外部監査の実施にあたり、外部監査人との契約を締結する。 契約金額：478万125円 契約の相手方：公認会計士・木下哲氏	○ 欠1	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
仮称杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校及び併設1施設建設建築工事の請負契約の締結について	契約金額：25億950万円 契約の相手方：渡辺・佐藤・目時・興信建設共同企業体	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
仮称杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校及び併設1施設建設電気設備工事の請負契約の締結について	契約金額：3億3,327万円 契約の相手方：牧野・清田建設共同企業体	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
仮称杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校及び併設1施設建設給排水衛生設備工事の請負契約の締結について	契約金額：2億1,315万円 契約の相手方：松本・ユーダイ建設共同企業体	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
仮称杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校及び併設1施設建設空調設備工事の請負契約の締結について	契約金額：3億3,600万円 契約の相手方：ヤコー・環境建設共同企業体	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道第2101-1号線整備工事の請負契約の締結について	契約金額：1億6,565万8,500円 契約の相手方：興亜・松田建設共同企業体	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度杉並区一般会計補正予算(第2号)	狭あい道路拡幅整備など防災性の向上や保育園の整備など、新たな事情の変化に対応するため、11事業の補正のほか1事業の財源更正並びに債務負担行為の補正のため、2億9,270万6千円の追加。予算総額1,564億4,806万8千円	○ 欠1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
特別区道の路線の認定について	下記の道路を特別区道として認定 宮前三丁目32番～31番、延長121.73m、幅員4.00m	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦について ※	任期満了に伴う候補者として、高石昌子(たかいし まさこ)氏の推薦に賛成	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦について ※	任期満了に伴う候補者として、今里恵子(いまざと けいこ)氏の推薦に賛成	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
杉並区監査委員(議員)の選任の同意について	小泉やすお議員の選任に同意	○ 欠1	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	同意
杉並区監査委員(議員)の選任の同意について	小川宗次郎議員の選任に同意	○ 欠1	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	同意
地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した平成24年度杉並区一般会計補正予算(第7号)の報告及び承認について ※	災害援護資金貸付金に係る地方債限度額を増額する。	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告承認
地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した損害賠償額の決定の報告及び承認について ※	区立保育園の園庭での事故に関する損害賠償額の決定の報告	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	報告承認
平成24年度繰越明許費繰越計算書について ※	特別養護老人ホーム等の建設助成、都市計画道路の整備の2事業で、25年度に1億5,732万4千円を繰り越す。	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
杉並区土地開発公社の経営状況について ※	土地取得：7,823.67㎡ 37億519万800円 土地処分：530.40㎡ 2億3,000万3,190円	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
公益財団法人杉並区スポーツ振興財団の経営状況について ※	スポーツの普及や健康づくりを目的として行われている各種の区民スポーツ教室の実施、区民体育祭やスポーツレクリエーション大会の運営のほか、指定管理施設と受託施設の効率的な管理運営に努めた。	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団の経営状況について ※	企業への就職を目指す障害者のための職場開拓や障害者雇用に関する情報の収集・提供、就労相談のほか、平成24年度から就労移行支援事業を開始し、障害者雇用の拡大を図り、24年度は65名が就職した。	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
下井草駅整備株式会社の経営状況について ※	駅舎施設等を西武鉄道株式会社に賃貸した。	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
一般社団法人杉並区成年後見センターの経営状況について ※	区民等からの成年後見制度に関する相談対応や申立て手続き支援の実施、普及啓発活動のほか、成年後見制度の法人後見の受任や区民後見人の後見監督の受任を行った。	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
杉並区議会議長辞職の件	議長辞職を許可	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	許可
杉並区議会議長選挙について	大泉時男議員を選出	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	選挙
杉並区議会副議長辞職の件	副議長辞職を許可	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	許可
杉並区議会副議長選挙について	渡辺富士雄議員を選出	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	選挙
農業委員会委員(選任による)候補者の推薦について	農業委員会委員(選任による)候補者として、浅井くにお議員を推薦することに決定	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙における候補者の推薦について	東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙候補者として、井口かづ子議員を選挙により、推薦することに決定	○ 欠1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	推薦
常任委員会委員の選任について	所属委員は8面をご覧ください。	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別委員会の廃止及び設置並びに所管事項等変更について	清掃・エネルギー対策特別委員会を廃止。文化芸術・スポーツに関する特別委員会を設置。災害対策特別委員会の所管事項を変更	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別委員会委員の選任について	所属委員は8面をご覧ください。	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議会運営委員会委員の選任について	所属委員は8面をご覧ください。	○ 欠1	○	○	○	○	△ 賛成1	○	○	×	×	○	○	可決

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案一覧」でご覧いただけます。

《会派名・構成人数》(25年6月13日現在)

自民/杉並区議会自由民主党(11人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、民社/民主・社民クラブ(7人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、ネみ/生活者ネット・みどりの未来(5人)、無区/無所属区民派(2人)、同志/杉並同志会(2人)、自ク/自民と区政クラブ(2人)、みん/みんなの党杉並(1人)、無/無所属(1人)、共生/共に生きる杉並(1人)、美杉/美しい杉並(1人)

### 第1回臨時会

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 平成25年7月17日議決

件名	概要	自民	公明	民社	共産	ネみ	無区	同志	自ク	みん	無	共生	美杉	結果
放射能対策費用に係る損害賠償請求に関する和解(第一次)について	東京電力株式会社は、原子力発電所の事故による放射能対策のため、23年度に支出した食品衛生法に基づく検査及び学校給食等の区が検査に要した費用として請求した賠償金2,893万2,030円のうち2,595万4,220円を区に支払う。	○ 欠1	○	○	○	○	○	○ 欠1	○	×	○	○	○	可決
平成25年度杉並区一般会計補正予算(第3号)	杉並区保育室の整備など合計3事業で、5,436万4千円を追加。予算総額1,565億243万2千円	○ 欠1	○	○	○	○	○	○ 欠1	○	×	×	○	○	可決

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案一覧」でご覧いただけます。

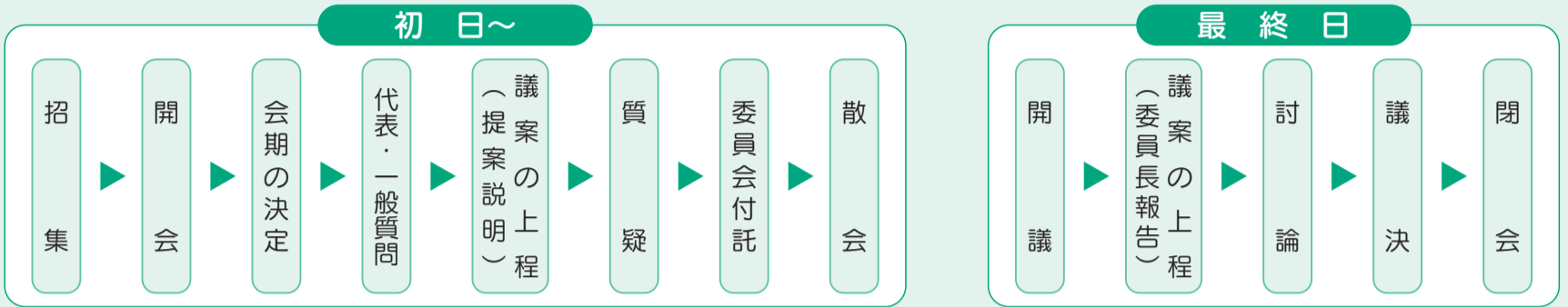
《会派名・構成人数》(25年7月17日現在)

自民/杉並区議会自由民主党(11人)、公明/杉並区議会公明党(8人)、民社/民主・社民クラブ(7人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、ネみ/生活者ネット・みどりの未来(3人)、無区/無所属区民派(2人)、同志/杉並同志会(2人)、自ク/自民と区政クラブ(2人)、みん/みんなの党杉並(1人)、無/無所属(1人)、共生/共に生きる杉並(1人)、美杉/美しい杉並(1人)

## 本会議の進め方

はじめに区長の招集のあいさつなどがあり、その後、一般質問が行われます。質問終了後、議案が上程され、委員会に付託されます。この委員会付託まで、4日間程度にわたって本会議が開かれます。

最終日は、審査を付託された委員会からの審査結果の報告を受けた後、採決を行い、議会の意思を決定します。  
なお、2月の定例会では、区長の予算編成方針に対する各会派の代表質問が行われます。

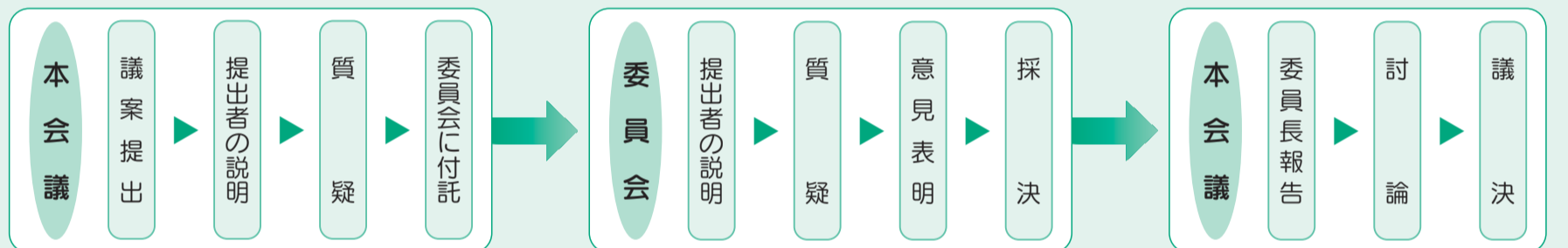


## 議案が議決されるまで

議会で審議する案件を議案といい、これを提出できるのは、区長、委員会、議員です。ただし、予算や区の局や部の設置、副区長の選任同意などは区長でなければ提出できません。また、議員が提出するには、議員定数の12分の1以上の賛成者が必要です。

提出された議案は、本会議で提出者から提案説明を受けた後、関係する委員会に付託して審査します。ただし、人事案件など、議案によっては委員会付託を省略して本会議で即決することもあります。

委員会の審査が終わった議案は、委員長からその結果が議長に報告され、本会議で議決を行います。



## 区議会を傍聴しましょう

本会議や委員会は、定員の範囲内でどなたでも傍聴できます。  
ご希望の方は、希望日当日、区役所中棟3階の区議会事務局でお申し込みください（手話通訳をご希望の方は、希望日の4日前までにお申し出ください）。

また、託児を希望する場合は、傍聴希望日の7日前までにお申し込みください（おおむね6カ月以上から就学前のお子さんが対象、費用は無料、申込順で各日定員4名）。

日程等は区議会事務局へお問い合わせください。

### お知らせ

- **議員の辞職**  
平成25年6月14日付  
小松久子議員（ネミ）
- **住所・電話番号変更**  
平成25年7月4日付  
すぐる奈緒議員（ネミ）
- **電話番号変更**  
平成25年5月1日発行の区議会だよりNo.217号8面「議案等の概要と審議結果」の表中に誤りがありました。お詫びするとともに訂正いたします。  
(訂正内容)  
「人権擁護委員候補者の推薦について」と「地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した損害賠償額の決定の報告及び承認について」は、民主・市民クラブ（民社）の議員が1名欠席していました。
- **新会派結成**  
平成25年7月17日付  
区議会生活者ネットワーク（生ネ）
- **所属議員（2名）五十音順**  
市橋綾子・そね文子  
緑の党（緑党）  
所属議員（1名）  
奥山たえこ

## 女子美術大学の協力でポスターを作成しています～昔話シリーズ

第1回定例会



花咲かじいさん

第2回定例会



浦島太郎

区が外部発信するポスターなどのデザインをより魅力的なものに向上させることを目的として、平成19年5月に区は「杉並区と女子美術大学とのデザインに係る連携協働に関する協定書」を取り交わしました。

杉並区議会では、平成22年から、議会開会をお知らせするポスターのデザインを女子美術大学に依頼しています。平成25年は、昔話をモチーフにしてシリーズ化し、第1回定例会は「花咲かじいさん」、第2回定例会は「浦島太郎」をデザインしたポスターを作成しました。9月に開会される予定の第3回定例会については「桃太郎」をデザインしたポスターを準備中です。ご期待ください。

## 常任委員会・特別委員会の仕事

杉並区議会には、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会が設置されています。議員は、必ず一つの常任委員会の委員になることが義務づけられており、任期は、特別委員会を除き1年となっています。委員会の受け持つ事項は下記の通りです（委員会構成は8面をご覧ください）。

### ◇常任委員会

総務財政委員会	<p>政策経営部、総務部、会計管理室、選挙管理委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項</p> <p>○区政の総合的な計画や調整に関すること ○予算やその他の財政に関すること ○財産の取得や建築工事などの契約のこと ○危機管理及び防災に関すること など</p>
区民生活委員会	<p>区民生活部及び農業委員会に関する事項</p> <p>○区税や戸籍、住民登録に関すること ○地域活動の推進に関すること ○商工業、農業、消費生活に関すること ○文化振興、都市交流、男女共同参画に関すること など</p>
保健福祉委員会	<p>保健福祉部に関する事項</p> <p>○健康都市杉並の推進に関すること ○高齢者、障害者、児童の福祉に関すること ○青少年の健全育成に関すること ○国民健康保険、国民年金、介護保険に関すること など</p>
都市環境委員会	<p>都市整備部及び環境部に関する事項</p> <p>○まちづくりに関すること ○みどりの育成・保護に関すること ○道路、公園、河川に関すること ○生活環境の整備に関すること など</p>
文教委員会	<p>教育委員会に関する事項</p> <p>○区立小・中学校に関すること ○文化財に関すること ○スポーツ、生涯学習に関すること ○図書館、科学館に関すること など</p>

### ◇議会運営委員会

議会運営委員会	<p>○議会の運営に関する事項 ○議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ○議長の諮問に関する事項</p>
---------	--

### ◇特別委員会

災害対策特別委員会	○災害対策及びエネルギー問題に関する調査
道路交通対策特別委員会	○自転車、外環道路、放射第5号線、南北交通及び新交通システムに関する調査
文化芸術・スポーツに関する特別委員会	○文化芸術及びスポーツに関する調査
議会改革特別委員会	○議会基本条例の制定及び議会のあり方に関する調査

## 災害対策特別委員会

### 「杉並区合同水防訓練」を視察

災害対策特別委員会委員が、5月11日(土)桃井原っぱ公園で行われた「杉並区合同水防訓練」を視察しました。

この訓練は、大雨の季節に備え、杉並区、荻窪消防署、杉並消防署、荻窪消防団、杉並消防団、町会やボランティアの方などが合同で行ったものです。

委員は、土のうを積んで浸水を防止する積土のう工法などの水防工法訓練や、消防レスキュー隊による救助訓練などを視察しました。また、浸水時の水圧で地下室などのドアが開けられなくなる「水圧体験ドア」訓練などに参加しました。



▲積土のう工法



▲「水圧体験ドア」訓練の様子

## 情報公開推進委員会

議会への情報公開請求に対する決定等に不服申立てがあった場合の審議などを行います。

(平成25年6月13日)

会 長 渡辺富士雄  
職務代理 富本 卓  
委 員 島田敏光  
委 員 河津利恵子  
委 員 くすやま美紀

## 広報委員会

議会の広報紙の編集、ホームページの運用に関することなどを所管します。

(平成25年6月25日)

委 員 長 中村康弘  
副委員長 浅井くにお  
委 員 山下かずあき  
委 員 富田たく  
委 員 けしば誠一

## 会議録をご覧ください

本紙掲載の質問と答弁は、一部を抜粋したものです。詳しい内容は、区議会事務局(区役所中棟3階)、区政資料室(区役所西棟2階)、区立図書館、地域区民センターで会議録をご覧ください(会議終了後おおむね2カ月後からご覧になれます)。

平成15年第1回臨時会から25年第1回定例会までの会議録は、杉並区議会ホームページでもご覧になれます。

25日	17日	16日	9日	1日	《7月》	25日	13日	12日	11日	10日	7日	6日	5日	4日	3日	《6月》	31日	30日	24日	22日	21日	14日	11日	《5月》	16日	12日	11日	5日	4日	《4月》	議 会 日 誌
保健福祉委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	総務財政委員会	総務財政委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	清掃・エネルギー対策特別委員会	道路交通対策特別委員会	災害対策特別委員会	総務財政委員会	文教委員会	都市環境委員会	保健福祉委員会	区民生活委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	災害対策特別委員会(視察)	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	災害対策特別委員会(視察)	都市環境委員会	清掃・エネルギー対策特別委員会	議会改革特別委員会	議会運営委員会	災害対策特別委員会(視察)	議会運営委員会	議会運営委員会	

# 新たな委員会構成 (◎：委員長 ○：副委員長) ※ ( )内は定数

## ◇常任委員会

### 総務財政委員会 (10人) 欠員1人



◎脇坂たつや ○横山 えみ 佐々木 浩 奥山たえこ 今井ひろし



鈴木 信男 河津利恵子 島田 敏光 大泉 時男

### 区民生活委員会 (9人)



◎くすやま美紀 ○市来とも子 横田 政直 そね 文子 金子けんたろう



吉田 あい 小川宗次郎 大槻 城一 小泉やすお

### 保健福祉委員会 (10人) 欠員1人



◎大熊 昌巳 ○川原口宏之 山田 耕平 松浦 芳子 新城せつこ



木梨もりよし 安斉あきら 渡辺富士雄 富本 卓

### 都市環境委員会 (9人)



◎山本あけみ ○斉藤 常男 けしば誠一 市橋 綾子 藤本なおや



増田 裕一 山本ひろこ 浅井くにお 原田あきら

### 文教委員会 (10人) 欠員1人



◎中村 康弘 ○井口かづ子 田中ゆうたろう 堀部やすし 岩田いくま



大和田 伸 富田 たく 山下かずあき 北 明範

## ◇議会運営委員会

議会運営委員会 (12人) ◇：理事  
◎◇富本 卓 ○◇島田敏光・山田 耕平・大和田 伸  
増田 裕一・北 明範・◇脇坂たつや・大熊 昌巳  
◇くすやま美紀・安斉あきら・◇河津利恵子・横山 えみ

## ◇特別委員会

災害対策特別委員会 (12人) 欠員1人	◎鈴木 信男 ○山下かずあき・そね 文子・木梨もりよし 岩田いくま・富田 たく・山本あけみ・山本ひろこ 浅井くにお・島田 敏光・大泉 時男
道路交通対策特別委員会 (12人) 欠員1人	◎大槻 城一 ○金子けんたろう・山田 耕平・けしば誠一 奥山たえこ・藤本なおや・脇坂たつや・吉田 あい 河津利恵子・横山 えみ・井口かづ子
文化芸術・スポーツに関する特別委員会 (12人)	◎安斉あきら ○大和田 伸・田中ゆうたろう・横田 政直 市来とも子・松浦 芳子・市橋 綾子・川原口宏之 大熊 昌巳・くすやま美紀・渡辺富士雄・小泉やすお
議会改革特別委員会 (12人) 欠員1人	◎今井ひろし ○北 明範・堀部やすし・佐々木 浩 新城せつこ・増田 裕一・中村 康弘・原田あきら 小川宗次郎・富本 卓・斉藤 常男

<p>奥山 たえこ</p> <p>緑の党 (1人)</p> <p>田中ゆうたろう</p> <p>美しい杉並 (1人)</p> <p>木梨もりよし</p> <p>共に生きる杉並 (1人)</p> <p>堀部 やすし</p> <p>無所属 (1人)</p> <p>横田 政直</p> <p>みんなの党杉並 (1人)</p> <p>区議会生活者ネットワーク (2人)</p> <p>市橋 綾子</p> <p>そね 文子</p>	<p>岩田 いくま</p> <p>自民と区政クラブ (2人)</p> <p>佐々木 浩</p> <p>松浦 芳子</p> <p>杉並同志会 (2人)</p> <p>けしば 誠一</p> <p>新城 せつこ</p> <p>無所属区民派 (2人)</p> <p>山田 耕平</p> <p>富田 たく</p> <p>鈴木 信男</p> <p>富田 たく</p> <p>金子けんたろう</p> <p>くすやま 美紀</p> <p>日本共産党杉並区議団 (6人)</p> <p>山本 あけみ</p> <p>増田 裕一</p> <p>小川 宗次郎</p> <p>安斉 あきら</p> <p>市橋 綾子</p> <p>横田 政直</p> <p>中村 康弘</p> <p>北 明範</p> <p>大和田 伸</p> <p>川原口 宏之</p> <p>島田 敏光</p> <p>山本 あけみ</p> <p>渡辺 富士雄</p>	<p>協坂 たつや</p> <p>杉並区議会自由民主党 (11人)</p> <p>富本 卓</p> <p>吉田 あい</p> <p>大和田 伸</p> <p>大泉 時男</p> <p>今井 ひろし</p> <p>井口 かづ子</p> <p>浅井 くにお</p> <p>大槻 城一</p> <p>川原口 宏之</p> <p>島田 敏光</p> <p>山本 ひろこ</p> <p>渡辺 富士雄</p> <p>山本 あけみ</p> <p>市橋 綾子</p> <p>藤本 なおや</p> <p>堀部 やすし</p> <p>佐々木 浩</p> <p>北 明範</p> <p>増田 裕一</p> <p>富本 卓</p> <p>斉藤 常男</p>
--	--	--

会派別議員名簿 (五十音順) 平成25年7月22日現在